

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|--------------|-----------------------|--|---|
| 24.(社)日本看護協会 | 6.8.9.10. | <p>6.十代の喫煙の防止 1. たばこ対策の推進と普及 1) 看護学生のたばこ対策会議の開催 (目的) たばこ問題の理解と対策推進の検討・情報交換 (内容) ・第2回看護学生のたばこ対策会議の開催 ・看護教育現場の禁煙環境・防煙教育の実態調査 配布: 1,502教育課程 回収: 1,118教育課程 (回収率74.4%) 2) 子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援事業の推進 (厚生労働省委託・先駆的保健活動交流推進事業) (概要) 地域における子どもの健康課題の解決や健康づくりにむけて、子どもの健康意識を高め子ども自身の生きる力、考える力を育てることをめざす、地域・学校保健活動連携支援事業を推進 ①児童生徒の喫煙防止対策行動計画の策定 (福井県) (目的) 喫煙の健康への悪影響に関する正しい知識の普及・たばこを吸わない環境づくりの推進 (内容) ・「丹南たばこ対策推進協議会」の設置および開催 ・喫煙に関する実態調査 ・健康教育の実施 ・「児童生徒の喫煙防止対策行動計画」の作成</p> | <p>6.思春期の保健活動の現状把握 思春期の心の理解 6.十代の喫煙の防止 1. 看護学生のたばこ対策 (目的) 看護学生に対する防煙教育の推進 (内容) ・看護学生用(十代の若者)パンフレットの作成・配布 作成部数: 20,000部 配布先: 看護教育機関、関連団体</p> <p>思春期の保健活動の現状把握 1.「健やか親子21」の思春期に関する課題と助産師活動のあり方の検討 (目的) 助産師職能としての思春期活動の現状を把握し、今後の課題を検討する。 (内容) ①地域における助産師による思春期活動についての調査 ②思春期活動で看護者が必要とする能力の検討</p> |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|---------------|-----------------------|---|---|
| 24. (社)日本看護協会 | | <p>8. 9. 避妊法、性感染症に対する若者の知識の普及・啓発</p> <p>1. 基本的知識の普及と啓発</p> <p>1) 「健やか親子21」の思春期に関する課題と助産師活動のあり方の検討 (目的) 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進をしていくための職能の役割を検討する。 (内容) 人工妊娠中絶、性感染症の減少をはかるための具体的な情報提供 「看護者が知っておきたい性の基礎知識-思春期保健に向けて-」の作成と配布 作成部数：10,000部 配布先：都道府県看護協会、会員施設、研修センターほか</p> <p>2) 「まちの保健室」事業の推進 (概要) 「まちの保健室」とは、日本看護協会が推進している新たな看護提供システム。 妊娠・出産・育児・療養生活や介護に関する相談・助言、年齢・世代を問わない健康相談、健康情報の提供、健康学習支援、市民同士の気軽な対話や世代を超えた交流の場、ネットワークづくりなどを含む多様な看護活動。</p> <p>① 「まちの保健室」SYABERIBA (熊本県) (目的) 思春期における心身の発達に関する正しい知識の普及／思春期も児童を対象としたところとからだの相談窓口の設置／児童のエンパワメントと思春期保健相談事業の充実 (内容) 空き店舗での児童を対象とした相談・学習・集いの場の開設 ・思春期の悩みに応えるピアカウンセラーの養成</p> | <p>2. 母体保護法に関する検討 (目的) 2005年の母体保護法第39条改正に向けて、受胎調節実地指導員の活動の拡大、強化の検討および政策提言を行う。 (内容) 以下の点についての検討を行う。 ①受胎調節のために必要な医薬品販売の拡大の可能性について ②「受胎調節実地指導員」の呼称の適否について ③4年制看護大学における受胎調節実地指導員認定講習会の認可申請について ④受胎調節実地指導員認定講習会のプログラム</p> <p>思春期の心の理解</p> <p>1. 学校保健教育～思春期のころと身体の発達～ (日本看護協会神戸研修センター) (目的) 思春期の若者について心身の成長発達を理解し、その健康問題の対応について考える。 (内容) ・若者の身体的発達 ・若者のころの発達 ・若者のころの健康問題 ・地域の教育力を活かした学校教育 (日時)平成16年8月3日～4日<2日間> 定員50名</p> |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|--------------|-----------------------|---|---------------|
| 24.(社)日本看護協会 | | <p>② 児童、生徒、思春期のこころとからだの健康づくり-学校保健、親との連携で推進する「まちの保健室」（福島県） （目的）思春期の児童における性に関する正しい知識習得の支援／児童の思春期問題に対する予防解決力の向上支援／児童における自他の生命を尊重するところの育成 （内容）・思春期保健講座の開催（生命を実感する体験学習－出前講座） ・看護職・医師・養護教諭らによる親を対象とした教育相談活動 ・看護職と教職員とによる懇親会の開催 ・性教育の専門医等を招いた講演会(対象：教職員、医療関係者) 上記8、9に加え10. 学校保健委員会の開催と開催への支援の強化 ③ 学校保健との連携で推進するこころとからだの「まちの保健室」（東京都） （目的）小中学生の性に関する正しい知識の習得および人工妊娠中絶・性感染症予防の支援 （内容）・小中学校における性教育 ・性教育に関するパンフレット作成 ・中学生・保護者・教師を対象とした性に関する調査の実施</p> | |
| 24.(社)日本看護協会 | | <p>3) 子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援事業の推進（厚生労働省委託・先駆的保健活動交流推進事業） ① 小・中・高生と地域・学校が共に考え、歩む“生”と“性”（栃木県黒磯市） （目的）小・中学生、高校生を対象に「自分を大切に、相手を大切に出来る力を持ち、自ら望まない妊娠や性感染症を防ぐ力をつける」ための育成を共同して実施することにより、生徒の「生と性」に関する意識を高め、行動につなげる力を身につける。 （内容）・小学校での児童・保護者を対象にした性教育講演の実施 ・地域住民との教育ディスカッション ・アンケートによる意識調査 ・相談窓口の設置 ・ピアカウンセリング</p> | |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|--------------|-----------------------|--|--|
| 25. 日本公衆衛生学会 | 6.十代の喫煙の防止 | <p>◆取組テーマ毎に、平成15年度取組実績を具体的にお書き下さい。</p> <p>1) 本学会では、これまで2回にわたり理事長名で、たばこ対策の推進を宣言してきた。平成15年度は、より一層のたばこ対策を推進するため、5つの基本方針に基づく行動計画をつくり、「たばこのない社会の実現に向けた行動宣言」として平成15年10月22日開催の本学会総会で宣言した。この宣言文の「基本方針5」の中に、未成年者の喫煙防止に関する行動計画が盛り込まれている。</p> <p>◎基本方針5：学校・地域・職域等の連携により、たばこ対策の実践活動を推進する。</p> <p>・ 衛生行政、学校保健、地域医療等の関係者（本学会の会員を含む。以下、同じ）が連携して、喫煙防止教育への人材派遣や教材面での支援及び受動喫煙の害について周知に努め、学校をはじめ地域の子ども関連施設の無煙化の実現を目指す。（以下、省略）</p> <p>※行動宣言の全文は、日本公衆衛生学会ホームページの「活動内容」に掲載 → http://www.jsph.jp</p> <p>2) 第62回総会（平成15年10月22日～24日、京都）において、「たばこ対策の今後」と題するシンポジウムを開催。未成年者の喫煙の実態とその要因、及び未成年者への禁煙支援に関する発表と討論があり、多くの参加を得た。</p> | <p>平成15年度に発表した「たばこのない社会の実現に向けた行動宣言」の周知を図り、各会員に基本方針に基づく行動を働きかける。また、他の専門学会等と連携して、喫煙対策の推進（学校の完全禁煙化などを含む）を関係機関に要請する予定。</p> |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|------------------|-----------------------|---|--|
| 26. (社)日本産科婦人科学会 | 2.3.6.8.9.10.女性の健康支援 | <p>上記テーマを中心に各地方部会にて公開講座を実施した。</p> <p>開催地 開催日 会場 テーマ 参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 11/12 旭川グランドホテル 女性がいつまでも美しくあるために-中高年女性の健康を考える- 98名 ・青森 9/28 下北文化会館 女性の健康を考える 114名 ・岩手 11/1 宮古シティホテル 性教育を考える 54名 ・山形 12/5 山形テルサ あなたが子宮がん検診で異常ありといわれたら・・・? 50名 ・栃木 11/21 獨協医科大学 第3回思春期医学懇話会 100名 ・埼玉 1/31 志木市ふれあいプラザ 若年女性のための健康講座 37名 ・千葉 2/21 千葉市女性センター 学校保健と産婦人科～産婦人科専門校医（相談医）の充実のために～ 125名 ・長野 12/6 若里市民文化ホール（長野市） 若者の性が危ない 450名 ・静岡 3月 県下中学校（3校）産婦人科医による教育現場における性教育出張講座 学校行事（生徒、教師、PTA） ・富山 1/24 富山国際会議場大手町フォーラム 思春期から考える性の健康 450名 ・石川 10/19 金沢シティモンドホテル 若者に蔓延する性感染症 115名 ・岐阜 10/25 岐阜会館 女性の日常生活と健康管理 96名 ・大阪 12/3 大阪リサイタルホール 女性の健康とたばこ・ホルモン 180名 ・奈良 2/21 奈良県医師会館 女性のための健康講座 40名 ・和歌山 7/8 医大講堂 中高年健康セミナー 200名 | <p>2.3.4.8.9.14.15.女性の健康支援 平成16年度地方部会担当公開講座予定</p> <p>開催地 開催日 会場 テーマ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 詳細検討中 ・青森 9/25 黒石市（スポカeln黒石）女性の健康を考える ・岩手 北上市 10-11月開催予定 ・山形 詳細検討中 ・茨城 11/6 茨城県医師会館 検討中 ・栃木 7/10 栃木県総合文化センター 今、摂食障害を再考する ・埼玉 1-2月頃開催予定 ・千葉 詳細検討中 ・神奈川 詳細検討中 ・静岡 県下中学校 教育現場における性教育出張講座 3月予定 ・富山 富山国際会議場 詳細検討中 ・石川 6/26 勤労者会館 女性の健康を守る ・岐阜 10/23 長良川国際会議場 抗がん剤の副作用にたち向かって長生きしよう ・滋賀 検討結果：7月頃 ・大阪 女性のQOL向上を目指して ・奈良 奈良県医師会館 2月開催予定 ・和歌山 6/26 医大講堂 体にやさしい治療をもとめて ・鳥取 米子市福祉保健総合センター 女性の健康を考える 10月頃開催予定 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|------------------|---|--|--|
| 26. (社)日本産科婦人科学会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取 5/21 鳥取県医師会館 女性の健康を考える一性感 染症と子宮頸癌 90名 ・島根 6/7 大東町民体育館 女性のための健康講座 180名 ・岡山 11/1 岡山国際会議場 中高年を健やかに美しく 51 名 ・徳島 3/27 新聞放送会館 女性がんの早期発見のために 161名 ・香川 11/1 社会福祉総合センター 子宮癌なんてこわくない 80名 ・愛媛 11/3 愛媛県医師会館 第17回性教育セミナー 92名 ・高知 7/6 高知市文化プラザ 女性のための健康講座ー 生理痛、子宮内膜症、不妊症を考えましょうー 70名 ・佐賀 1/10 アバンセ 女性健康講座～性感染症の予防～ 155名 ・熊本 3/6 つるやホール 女性の健康シリーズ9 156名 ・宮崎 8/23 宮崎県医師会館大ホール 性教育と感染症 139名 | <ul style="list-style-type: none"> ・島根 詳細検討中：12-3月開催予定 ・岡山 詳細検討中 ・徳島 お産に関する内容 3月頃開催予定 ・香川 11/20 社会福祉総合センター みずみずしい お肌と健康を維持する ・愛媛 愛媛県医師会館 第18回性教育セミナー 1 月頃開催予定 ・高知 詳細検討中 ・福岡 12/4 詳細検討中 ・佐賀 2/5 アバンセ 中高年女性の健康講座（更年期、 骨粗鬆症） ・熊本 2/26 つるやホール 検討中 ・宮崎 8/21 宮崎県医師会館 検討中 ・鹿児島 検討結果：8月末 ・沖縄 性感染症に関する内容 10-11月頃開催予 定 |
| 28. 日本思春期学会 | 1.2.3.4.5.6.7.8.9.10. 11.12.13.60.61.62. | <p>思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 健康日本21 母子保健関係事業 学会誌での取組 「思春期学」VOL. 21 NO. 1 《特集1》第21回日本思春期学会学術集会 60 シンポジウム4：思春期と栄養 廣田 孝子 《誌上研修》 2, 3, 8, 9 テーマ：思春期の健康教育の新戦略～ピアカウ ンセリング実践講座～ピアカウンセリングの手法を用いた 性教育の理念と方法 高村 寿子 2, 3, 8, 9 思春期ピアカウンセリング講座の実際～市町村 における展開例～ 松沼 瑞枝 2, 3, 8, 9 高校生の性および性教育に関する意識調査 平岡 友良 2, 3, 8, 9 10代の性意識、避妊、男女交際の現状 ～初期人工妊娠中絶手術を受けた10代患者のアンケート 調査より～ 橘 寿好 「思春期学」VOL. 21 NO. 2 《報告》 60 食生活が思春期女子の初経発来に及ぼす影響 野 田 艶子 60 食生活と健康との関連 (1) 食生活と自覚的身体症 状との関連 伊藤 靖子</p> | <p>思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 健康日本21 母子保健関係事業 学会誌での取組 年4回発行予定の学会誌「思春期学」での取組を 推進する。 平成16年9月「思春期学」では、「62 思春期の歯 科保健」を特集する予定。 総会・学術集会での取組 第23回日本思春期学会学術集会は「心とからだ の健康」をテーマに開催される。学会長は筑波大 学体育科学系スポーツ医学 目崎 登教授。 開催 第23回日本思春期学会学術集会 期日 平成16年8月7日～9日 場所 茨城県 つくば国際会議場(エポカルつくば) プレコングレスミーティング(市民公開講座) 「思春期の生活と健康」 6 「思春期に「タバコの真実」を～四十万人の禁 煙教育から～」 無煙世代を育てる会代表・光潤会平間病院院長 平 間 敬 文</p> |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|-------------|-----------------------|--|---|
| 28. 日本思春期学会 | | <p>《地域活動援助費に対する報告》 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 思春期の少女少女に対する活動 宮内 文久 3, 9 エイズ予防教育の活動報告 金子由美 2, 3, 8, 9 中学校における性教育の実際 齋藤 益子 2, 3, 8, 9 若者主体の地域活動を目指2, 3, 8, 10 して 和田 由香 《誌上研修》テーマ：人工妊娠中絶を受ける思春期女子の 看護 2, 8 看護教育のポイント 遠藤由美子 看護実践のポイント 番内 和枝 「思春期学」VOL. 21 NO. 33 《原著論文》 13 全国における思春期外来ならびに思春期相談窓口 の設置状況に関する調査結果 加藤 則子 《臨床報告》 2, 3, 8, 9 ピアエデュケーションによる健康講座の実践 的検証 藏本美代子 《報告》 2, 3, 8, 9 北九州市内の中学校 4 校における性意識調 査 劍 陽子 4.4 学生の児童虐待に対する関心の関連要因 関 秀 俊 《誌上研修》 4 テーマ：摂食障害 摂食障害の初期治療 中野 弘一 一般内科からみた摂食障害 松崎 淳人 「思春期学」VOL. 21 NO. 4</p> | <p>2, 3, 8, 9 「学校、家庭、地域で取り組む「性教育・思春期保健」」 社団法人いはらき思春期保健協会 和田 由香 3, 9 「思春期における性感染症の現状」 龍ヶ崎済生会病院副院長 武島 仁 61 「思春期の骨と食生活」 筑波大学体育科学系講師 麻見直美 10, 11, 12, 13 「学校保健と地域保健が取り組む思春期の健康課題」 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野教授 荒木田 美香子 会長講演 61 「女子スポーツの光と影」 目崎登特別講演！ 61 「疾走能力の発達期から思春期まで」 十文字学園女子大学人間生活学部長 宮丸 凱史 シンポジウム 61 「青少年の体力低下および体力づくり」 ①「子どもの体力の経年的変化」 筑波大学体育科学系助教授 西嶋 尚彦 ②「ジュニア選手の体力」 日本体育協会スポーツ科学研究所 伊藤 静夫 ③「子どものトレーニング」 筑波大学体育科学系助教授 久野 譜也 ④「子どもの体力と免疫」 東北大学大学院医学系研究科病態運動学分野教授 永富 良一 ⑤「子どものケガと体力・身体特性」 早稲田大学スポーツ科学部助教授 鳥居 俊</p> |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|-------------|-----------------------|---|--|
| 28. 日本思春期学会 | | <p>《特集》 60, 61 思春期から予防する生活習慣病 母子保健活動と生活習慣病予防 加藤 則子 思春期肥満と生活習慣病 杉原 茂孝 小児期（前思春期）からの生活習慣病予防 津田 芳見</p> <p>《特集》 6 思春期から予防する生活習慣病 思春期の喫煙防止 望月友美子…366</p> <p>《原著》 3, 9 介入アプローチの差による HIV 感染予防行動における自己効力感の比較 松本 淳子</p> <p>2) 総会・学術集会での取組 参加人数 一般公開講座 455人 学術集会 617人（医師・助産師・看護師・保健師、教育、心理、警察、福祉関係者など） 開催 第22回日本思春期学会学術集会（会長：京都府立医科大学大学院女性生涯医学教授 本庄英雄） 期日 平成15年8月17日、18日 場所 国立京都国際会館 一般公開講座 心身ともに健やかに・美しく・快適に・・・思春期の女性とその親たちへのメッセージ 4, 6 第1部 「思春期女子はやせ志向？ 正しい知識で正しい栄養習慣」 （葉酸・鉄・カルシウムとからだの関係） 平原 史樹（横浜市立大学産婦人科 教授） 2, 3, 8, 9 演題2 「2, 3, 8, 10『性の健康教育』の現場から」 2, 3, 8, 11 小田 洋美（吉祥女子中・高等学校 教諭）</p> | <p>パネルディスカッション I 60 「若年者における生活習慣病」 ①「小児、思春期の肥満」 産業医科大学小児科学助教授 朝山 光太郎 ②「小児、思春期の糖尿病」 筑波大学臨床医学系代謝内分泌内科講師 島野 仁 ③「小児、思春期の高脂血症」 琉球大学医学部病態解析医科学講座育成医学分野教授 太田 孝男 ④「小児、思春期の高血圧」 新潟大学大学院医歯学総合研究科内部環境医学講座小児科学分野教授 内山聖</p> |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|-------------|-----------------------|---|---------------|
| 28. 日本思春期学会 | | <p>教育講演Ⅱ 4 「神経性食思不振症」座長：村田 光範(和洋女子大学大学院総合生活研究科 教授) 鈴木 眞理 (政策研究大学院大学保健管理センター 教授)</p> <p>教育講演Ⅴ 61 「女性思春期の運動」 座長：中野 博子 (人間総合科学大学人間科学部人間化学科 助教授) 伊藤 博之 (聖路加国際病院 名誉医長)</p> <p>教育講演Ⅵ 6 「思春期と喫煙」 座長：高波 真佐治(東邦大学医学部附属佐倉病院泌尿器科学 教授) 高橋 裕子 (奈良女子大学保健管理センター 教授)</p> <p>教育講演Ⅶ 3, 9 「十代若年女性のヒューマン パピローマウイルス感染-子宮頸癌予備軍-」 座長：玉舎 輝彦 (岐阜大学医学部女性生殖器学 教授) 鈴木 薫 (名古屋市立大学大学院生殖・発生部門 教授)</p> <p>シンポジウムⅠ 「思春期と内分泌」 4 「摂食障害の中・長期に関する心身医学的検討」 牧野 真理子 (牧野クリニック院長)</p> <p>シンポジウムⅢ 「思春期と教育」 10, 13 「産婦人科医が学校医として性教育に取り組んで来た事」土肥 定 (土肥産婦人科医院 院長)</p> <p>ランチセミナー 2, 3, 8, 9 「リプロダクティブヘルスにおける思春期保健の重要性について」 座長：目崎 登 (筑波大学体育研究科スポーツ医学 教授) 演者：安達 知子 (東京女子医科大学産婦人科 助教授)</p> | |
| 28. 日本思春期学会 | | <p>3, 9 「思春期とSTD-治療の問題点」 座長：星合 昊 (近畿大学医学部産婦人科 教授) 演者：保田 仁介 (京都府立医科大学大学院女性生涯医科学 客員講師 松下記念病院産婦人科 部長)</p> <p>2, 8 「思春期におけるピルの応用」 座長：麻生 武志 (東京医科歯科大学大学院生殖機能協関学 教授) 演者：山本 宝 (京都府立医科大学大学院女性生涯医科学臨床教授 医療法人福井愛育病院 副院長)</p> | |

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

| 団体名 | 課題に対する団体としての15年度の取り組み | 15年度の取り組み実績 | 16年度の取り組み行動計画 |
|-----------------|---|--|---|
| 29. 日本児童青年精神医学会 | <p>児童および思春期のメンタルヘルス対策の基盤作り</p> <p>児童および思春期メンタルヘルスに対する全国的な啓蒙啓発</p> | <p>1. 第44回日本児童青年精神医学回総会開催 開催日時 平成15年10月22日～24日 開催地 福岡県福岡市 参加者 893名 今日的テーマであるさまざまな児童問題について、研究および臨床実践について総括的な報告と検討を行った。</p> <p>2. 関係委員会活動 取組テーマに関係のある委員会活動を通して、推進を図った。 例) (1)教育に関する委員会開催 (2)福祉に関する委員会開催</p> <p>3. 第3回アジア児童青年精神医学会総会への協力 平成15年11月に台湾で開催された標記総会への協力を通して、国際的な視点で実践および研究成果の検討を行った。</p> | <p>1. 第45回日本児童青年精神医学回総会開催 開催日時 平成16年11月3日～5日 開催地 名古屋市 参加者 1000名を予定 児童思春期精神科医療の充実と展開にむけて、第一線の臨床家の実践成果や研究者の成果などについて学術報告と検討等を行うことで、この課題に取り組む。 本学会会員による全国各地での児童思春期精神科診療の充実に向けた活動を推進する。</p> <p>2. 児童および思春期のメンタルヘルス対策の基盤作り 児童思春期のメンタルヘルスに係わる関係機関の効果的な連携と協力体制を押し進めるために、学会として指導的な立場に立って取組みを展開する。 具体的には、この目的に叶う委員会活動を行う予定である。 例) (1)教育に関する委員会開催 (2)福祉に関する委員会開催 また、児童福祉領域への支援として、児童虐待対策や児童福祉領域の研修のために社会的役割を果たすべき創設された「子どもの虹情報研修センター」の企画運営に積極的に協力する。</p> |